

教員名 羽藤雅彦

企画名
瀬戸内カレッジ

商品開発型/地域活性化型
企業
自治体・国



企画・活動概要

JR西日本・自治体・大学が連携し、若者視点を活用した地域活性化、旅行需要の喚起、学生の成長機会の創出を目指す産官学のプロジェクト。一連の取り組みを通して、参加学生と地元協力者の中で交流が生まれ、地域と連携強化の促進、大学生による若者目線の旅行プランや地元の課題解決に向けたアイデアの提案、および自主的な地元PRを展開する。

今回の活動期間は6月から3月までである。



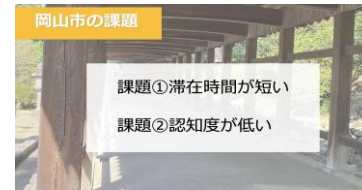
経緯・背景・目的

今年度は岡山市に協力してもらい、いかに岡山市に若者を呼び込むかを検討した。



取り組む課題

岡山市の滞在時間の少なさ、また、認知度の低さという課題をいかに解決するかに取り組んだ。



本学(学生)の役割

学生には市場調査、そして問題設定、問題を解決する提案が求められている。ゼミ生は滞在時間を伸ばすための施策、そして認知度を高めるためのプロモーション案や地域の魅力向上案を提案。



活動結果・成果・学生が成長した点・学生が身につけた能力

学生が成長・身につけた能力: 地域の問題を発見するための分析力・プレゼン能力・提案に至るまでの発想力、チームを纏めひっぱるリーダーシップ。また、今年はコロナの影響を意識しながら発表の準備をしたこともあり、臨機応変に対応することの重要性も知ることができた。学生成果物としては、プレゼン資料やJR西日本の「マイフェア」で公開されている電子パンフレット等がある。



のんびりとした非日常空間の中で歴史と芸術に触れる。



指導教員および関係者の紹介

指導教員: 商学部 マーケティング学科 准教授 羽藤雅彦
参加学生: 羽藤ゼミ
協力企業: JR西日本、JR四国
協力自治体: 松山市、広島市、呉市、廿日市市 (瀬戸内松山ツーリズム推進会議)

